

古い政治にノーマルを突きつけ、「我々に任せろ」と世代交代を迫るうねりが永田町で高まろうとしている。六月の総選挙で、都市部を中心に自民党の閣僚経験者をバタバタと落選させ、新人議員を大量に誕生させた「民意」も、若手議員を勢いづけている。新世代はどうか政治を変えようとしているのか。自民、社会両党の「五五年体制」が崩壊した一九九三年総選挙以降、国政に登場した与野党の国会議員に、新しい政治をつくり出そうとする胸の「鼓動」を聞いた。

## 派閥の親分はだめ 若手から総裁候補

今の自民党は有権者の方を全然向いていない、国の将来を考えていないというのが一番問題だ。

与党なんだから、政府にも議員が入り、責任と権限を両方もって物事を決めないといけない。ところが、法律的には何の権限もない党政務調査会が出てきて、話がおかしくなる。政調の部会は圧力団体の親分になっていて、今の自民党の言う通りにすると財政赤字が真っ赤かになる。

自民党は何をやるか、とというのが全然なく、役所の政策が自分のプログラムになっちゃってる。僕は環境問題をやっていて、原発は

フェーズアウト（全廃）で

きているというシナリオを作っている。そういう議論をやりたいが、どうも「最初に原発ありき」で役所も政治家も電力業界も動いているみたいところがあり、それで本当に将来いいのかという議論にならない。

今の危機的状況から自民党が脱出するためには、世代交代をして新しいリーダーを有権者の前に提示し、自民党は何をやる政党なんだという再定義をやったうえで参院選を迎えないとだめだ。（加藤紘一元幹事長らの）V区区や河野洋平を含め、今の派閥の親分ではない、自民党は変わったことにな

「自民党の明日を創る会」は二十六日の横浜を皮切りに地方を巡業し、我々が何を考えているかを有権者にきちんと話す。この会から次の総裁選の候補を出せるかどうかで判断してもらいしかな。

### 河野太郎氏（自民、37歳）

米国の大学卒業後、サラリーマンに。環境政策のシンクタンク主宰。「自民党の明日を創る会」世話人。河野洋平外相の長男。衆院神奈川15区、当選2回。

## われわれに任せろ

国会議員は法律を作るのが仕事なのに、議員立法なんてことは考えたこともない人たちが立法院にウニョウニョいる。官僚を呼びつけて説明を聞き、ただ法案に賛成したり反対したりするだけのマシンみたいな人らが。

私たちは議員立法を非常に大事に思っていて、法案を作るのにも官僚なんか呼ばない。NPO（非営利組織）の人たちを呼んで、市民と一緒に作っていくスタイル。私は、NPO法とか情報公開法とか男女共同参画社会基本法とかの立法に

かかわったけど、本当の意匠での公益を考えて法律を作り、世の中の仕組みを変えていくのが新しい政治のやり方だと思ってる。そういう仕事をしていく時、当選回数とかキャリアで序列をつけようとする永田町の文化が障害にな



大学在学中に国際交流団体「ピースボート」設立。「強姦」発言の西村真悟元防衛政務次官に直談判し、辞任を要求。党政審会長。衆院大阪10区、当選2回。

「自民党」政権のNPO法案つくりに加わった時、NPOを規制するとうる発想が随所にあつたので「問題が多いから再検討してほしい」と発言したら、「ヒラ社員がひっくり返さる」というのかと先輩議員に怒鳴られた。これじゃだめだと思い、当時の自民党の幹部を説得して回り、だいたい内容を覚えてもらっ

## 私でも中曽根さんと対等

## 新世代の増加は加速する

社会構造が変わり、今までの政治のやり方が通用しなくなっている。自民党が典型的で、公共事業をばらまけば集票できるという状況ではなくなってきた。でも、これまでそれでうまくやってきた政治家は公共事業を減らせない。古い世代

には右肩上がりの経済時代の先入観があるから先送りの政治を続ける。僕はさきかぎにいた「自民党」政権の時、与党でありながら衆議院議員問題で政府の責任を認めさせるために動いた。与党であるうと、ダメなものだ。古い世代

う。逆に一昨年の金融国会では、我々が出した金融再生法案に対して、自民党の若手が「野党案でも、いいものはいい」という動きをしてくれた。両方とも、古い世代の政治家には理解できない発想だったようだ。古い発想では選挙を勝

ていく。でも、我々が新しい世代は、必然的に増えていく。増え始めると、加速度的に増える。それが、六月の総選挙で民主党が一挙に四十三人の新人を当選させたことに表れている。当選回数主義を批判してきた我々は「一期生のくせに生意気だ」とは絶対言えないから、彼らは持ち味を出しやすさという好循環になる。

民主党としては当面、自民党との対立軸を「世代交代」にするしかない。政策では、石原伸晃さんや河野

太郎さんのように、我々と同じことを言っちゃう人が自民党の中にもいるから。でも、自民党の中で言ってもつづがされる。我々は新世代が主流だから党の決定にできる。そこが違う。世代で二分すれば、鳩山由紀夫代表や菅直人幹事長は若い側と思われ、いゝんがらみに引つ張られる。当選三十四回の我々あたりが二年後の代表選でもともに戦える力をつけたいといけない。そうではないと、鳩山さんや菅さんも思

### 枝野幸男氏（民主、36歳）

弁護士から日本新党の公募に応じて国政に。新党さきがけを経て民主党結党に参加。「政策新人類」の一人で、党政調会長代理。衆院埼玉5区、当選3回。

「鼓動」新世代の群像」は随時掲載します。